

グローバル情報技術で笑顔を創る  
株式会社 SYSホールディングス

**2019年7月期**

**第2四半期**

**決算説明**

2019年3月12日  
(銘柄コード：3988)





# 2019年7月期第2四半期 決算概要【前年比】

## 売上高



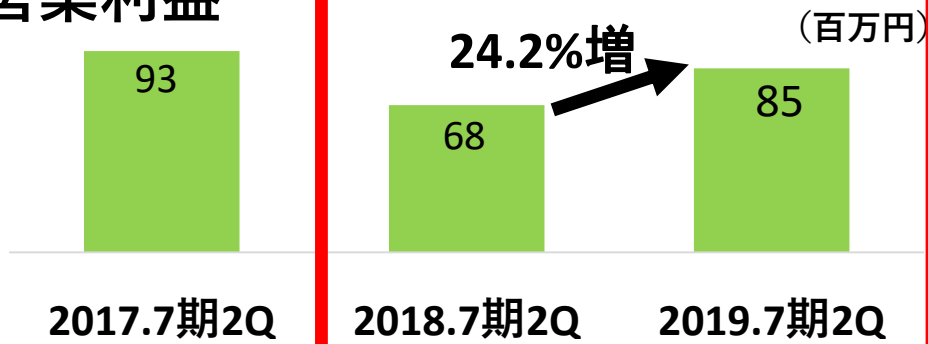
## 前年同期比

売上高 : 522百万円 増

営業利益 : 16百万円 増

四半期純利益 : 17百万円 増

## 営業利益

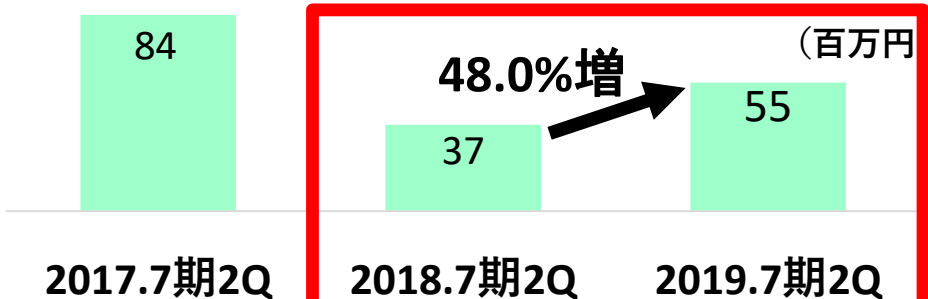


## POINT

### 【売上高 前年同期比】

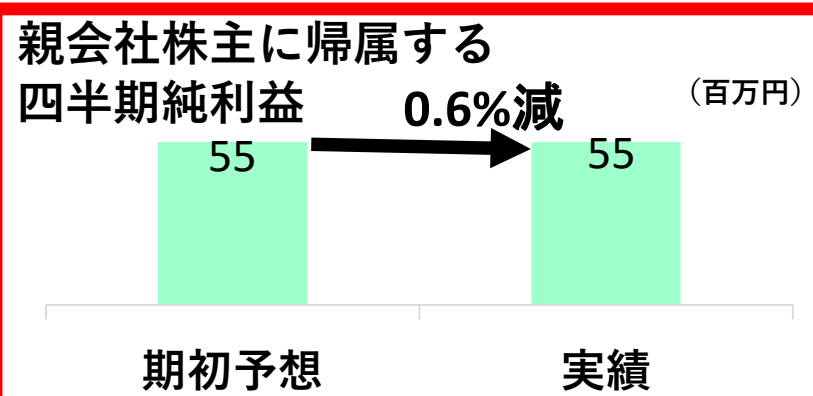
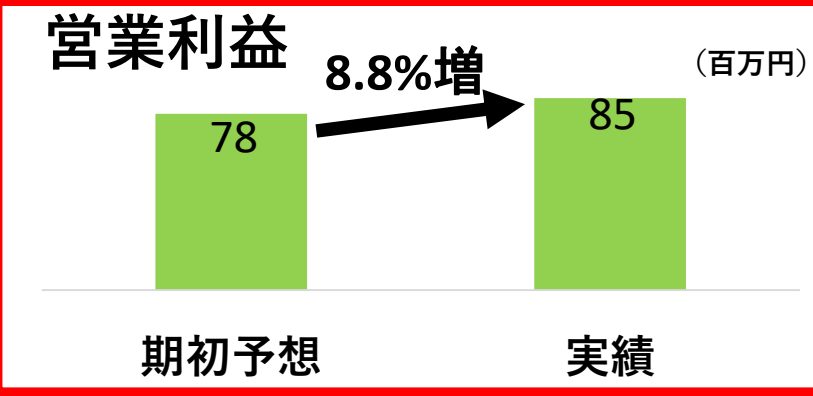
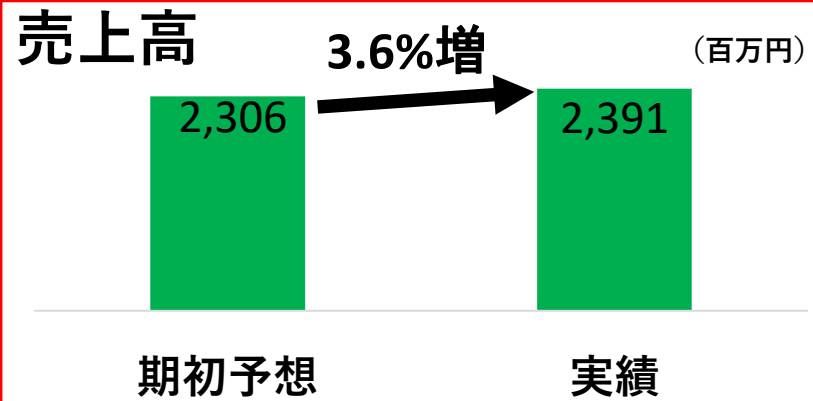
- ・既存事業 312百万円増  
車載ECU関連、電力系顧客からの受注増加  
前期採用技術者(約180名)が順調に立ち上がる
- ・M&A (2社) 209百万円増

## 親会社株主に帰属する四半期純利益



### 【営業利益 前年同期比】

- ・既存事業 19百万円増
- ・M&A (2社) 3百万円増
- ・上記ののれん償却等 7百万円減



## 期初予想値 (2018年9月13日) との比較

**売上高** : 84百万円 **増**

**営業利益** : 6百万円 **増**

**四半期純利益** : 0.3百万円 **減**

## POINT

### 【売上高 予想比】

- ・既存事業 67百万円増
- ・M&A(2社) 16百万円増

### 【営業利益 予想比】

- ・既存事業 10百万円増
- ・M&A(2社) 4百万円減

### 【四半期純利益】

- ・欠損金のある法人の利益計画未達成により0.3百万円減

### 【採用教育費 増】

・「7%待遇UP・就業環境整備・研修制度の一層拡充」  
で1Q苦戦した利益が、2Qで十分に挽回！

**稼げる体質に転換**

# 2019年7月期第2四半期 トピックス

Global IT  
For  
Your  
Smile

## M & Aの相乗効果

IT業界経験者や新規取引先の確保等による事業規模の拡大を目的とし、**赤字・債務超過の中小企業**をターゲットとしたM & Aを進めており、その会社の歴史と文化を活かしたまま、多種多様な情報サービスに対応して参ります。

株式会社テクノフュージョン

(グループ参加：2017.11.17～)



2018.8～2019.1 (6ヵ月)

- ・取引開始：5百万円 (グループ内紹介)
- ・グループから受注：17百万円
- ・グループへの発注：5百万円
- ・採用数(グループ参加前1年比)  
：1名→3名(グループ内の応援人数5名)

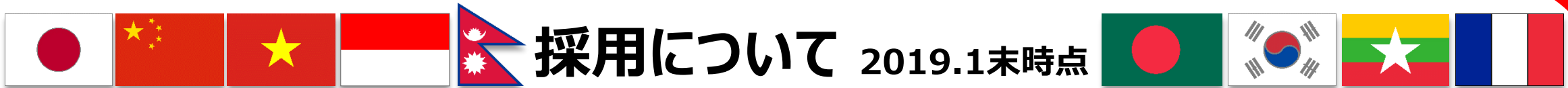
株式会社オルグ

(グループ参加：2018.4.13～)



2018.8～2019.1 (6ヵ月)

- ・取引開始：-
- ・グループから受注：-
- ・グループへの発注：4百万円
- ・採用数(グループ参加前1年比)  
：3名→4名(グループ内の応援人数3名)



## 採用について 2019.1末時点

(9カ国)

外国人の就労者人数：従業員比 **11.9%** (内(株)エスワイシステム 10.4%)

➤ たとえば... 中国からの現地採用

『JLPT N1・N2取得者採用』⇒『基本情報処理技術者試験を教育取得』

第1期生(2018.3入社)：12名 既に売上をつくれる社員へ

第2期生(2019.3入社)：15名 基本情報処理技術者試験、全員合格済

第3期生(2020.3入社)：25名 内定承諾済→海外重要提携先にて研修中

➤ 外国人の従業員数と比率の推移

2017年 7月期	2018年 7月期	2019年 1月末時点
61名 (11.1%)	72名 (10.3%)	88名 (11.9%)

## 就労条件について

女性の就労者人数(2019.1末時点)：従業員比 23.3% (内(株)エスワイシステム 22.2%)

ベビーシッター補助金制度

お子さま同伴出勤制度

時短勤務枠の拡大

平均残業時間16時間  
(2018年7月期)

有給取得率 75.7%  
(2018年7月期)

社内インフラの整備

◆ (株)エスワイシステムとして登録



愛知県



愛知県



名古屋市



大阪府

◆ 当社グループで登録 愛知県『女性の活躍促進宣言』

◆ クロス・トランスジェンダーの雇用も積極的

LINE WORKS

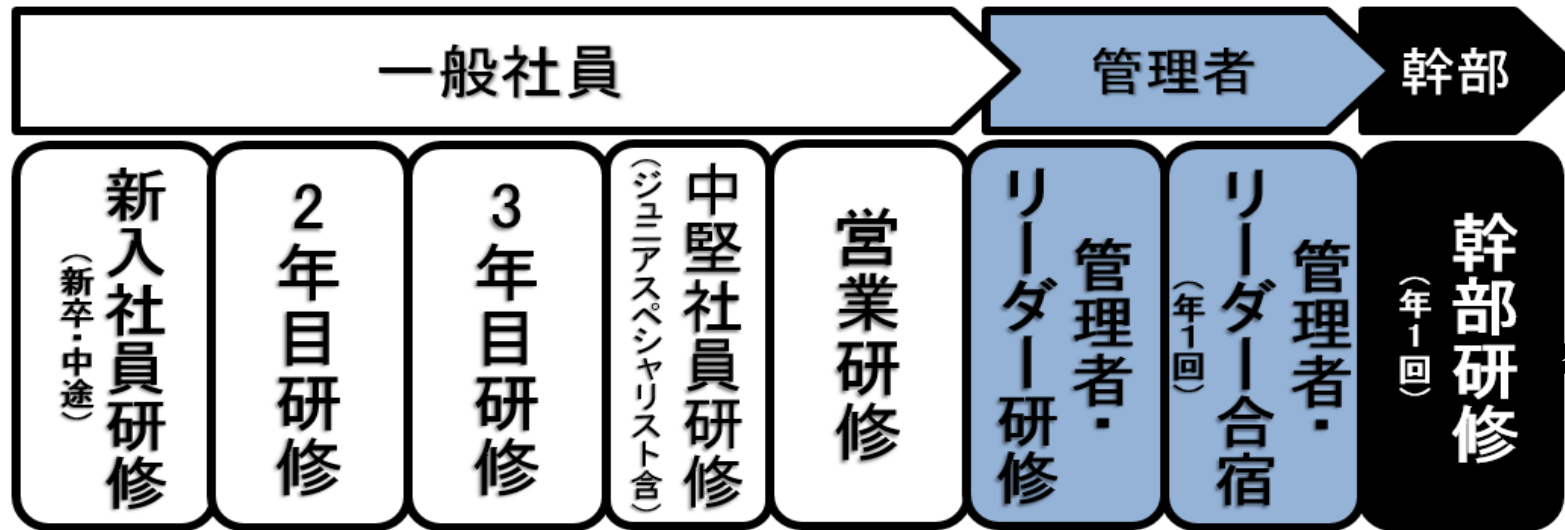
Office 365

等

## 研修について

- 2018.7より、SYSホールディングスグループ<sup>o</sup>全社員合同研修を実施
- 前期採用181名→2018/7末時点で、**約1/4人が新人**

※新人：日本国内の正社員／契約社員／トライアル社員含めた全社員のうち、入社して1年未満の社員



全役職員  
年4回  
研修

※PL: プロジェクトリーダー  
※PM: プロジェクトマネージャー

2022/7末には、約1/4人がPL/PMへ!



## PT. INDONESIA について

車載ECUの発展に迅速に対応するため、自動車関連顧客のオートマチック・トランスミッション検証業務において、

**18名から45名への増員、**

**検証業務から設計業務への転換**を計画



社員数 6カ月で**105%の増加率**

2018/7末  
18名



2019/1末  
37名

**採用・教育に注力！**

# 2019年7月期 業績予想

YES

Global IT  
For  
Your  
Smile



# 2019年7月期 連結業績予想

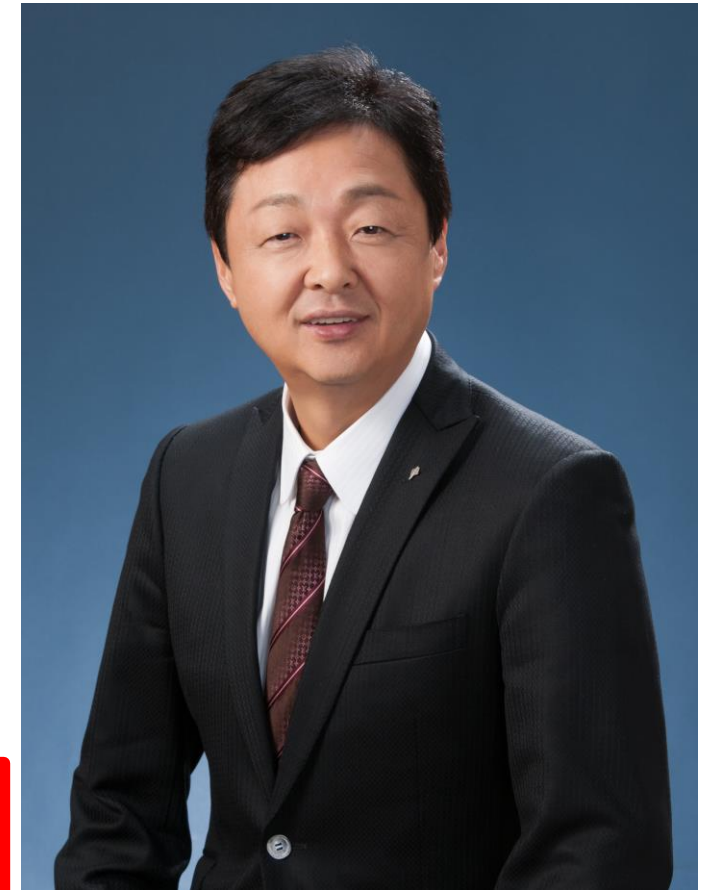
単位：百万円

	2018年 7月期	売上比	2019年 7月期 (予想)	売上比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	4,163	-----	4,827	-----	664	16.0%
営業利益	199	4.8%	203	4.2%	4	2.1%
経常利益	205	4.9%	205	4.3%	0	0.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	147	3.5%	147	3.1%	0	0.2%

	2017年7月期	2018年7月期	2019年7月期 (予想)
1株当たり配当金	10.0円 (普通配当 10.0円)	13.0円 (普通配当 11.0円) (記念配当 2.0円)	12.0円 (普通配当 12.0円)
配当性向	13.0%	22.7%	20.9%

**(注) 当社は2018年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
上記記載の1株当たり配当金は、分割換算後の数値を記載しております。**

- 2020年までは高い成長を目指し、採用・育成等、人材投資に力を入れる。
- 体制の拡充を優先し、戦略的に下請け比率も上げる。
- 2020年以降に予想される景気後退期までに、中核を担える人材を育成し、同業他社との競争に勝ち残る。
- また、景気後退期には、M&Aを一気に進める。



(代表取締役会長兼社長 鈴木裕紀)

グローバル情報技術で笑顔を創る

当たり前を突き詰める経営